

趣意書

バンクーバー大会支援大阪実行委員長

大 賀 正 行

今年9月30日よりカナダのバンクーバーで第2回国際障害者ピアノフェスティバル（通称ピアノパラリンピック）が開催されます。スポーツの面ではパラリンピックが大きな成果をあげていますが、文化・音楽の面でも取り組もうというのが、4年前横浜から始まったピアノパラリンピックです。まだ始まったばかりで周知されていませんが、戦争で負傷した兵士たちのリハビリテーションとして「手術よりスポーツを」の理念で1948年イギリスのストーク・マンデビル病院で行われた小さな競技大会が今日盛大なパラリンピックとなったように、将来はピアノだけでなく障害者の音楽祭典になることはまちがいないと信じます。

日本では障害者問題はまだまだ福祉や医療の問題とされて、「弱者救済、愛の心を」というとらえ方になって、人権という視点が弱いように思います。それは「障害のある人の権利に関する条約」の批准がなされていないことにも現れています。「人間は尊敬すべきもの」（水平社宣言）といっても弱者救済では「いたわり」になってしまいます。バリアフリーの義足をつければ100メートルを10秒代で走る。指がなくても、目が見えず、耳がきこえなくてもピアノが弾けるという人間の能力の発揮は、障害者はもとより健常者にも感動と生きる勇気を与えてくれます。このためにも障害者の人権保障とバリアフリーを実現することに全力をあげることが必要であり、福祉や医療も本来的には人権であるという視点から障害者問題をとらえていくという思想の啓発が不可欠であります。

近代オリンピックはフランスから（1894）。パラリンピックはイギリスから（1948）。ピアノパラリンピックは日本が提唱者です（2005）。全盲の辻井伸行さんは、チャイコフスキー国際コンクール、ショパン国際ピアノコンクールと並ぶ難関のバン・クライバー国際ピアノコンクールでの優勝でしたが、ピアノパラリンピックは将来4大国際ピアノコンクールの一つとなることまちがいありません。福祉、教育、人権、文化のテーマを結集したピアノパラリンピックの周知啓発と第2回バンクーバー国際障害者ピアノフェスティバル参加選手の支援・激励のため一大コンサートを企画しました。1500人収容の会場が満杯になりますよう全面的なご支援を心より希望致します。

開催要綱

名称 「第2回バンクーバー国際障害者ピアノフェスティバル支援コンサート」

会場 国際障害者交流センター（ビッグ・アイ）堺市泉ヶ丘

日時 8月25日（火）開場13時半、開演14時半、終了16時半

規模 全員無料招待で、障害者を中心に1500人の参加を実現する。

主催 バンクーバー大会支援大阪実行委員会

監修 N`PO 法人日本障害者ピアノ指導者研究会

国際障害者ピアノフェスティバル実行委員会

後援団体と協賛企業は別紙に記載。